

消防業務システムの導入手順書 (第 1.1 版)

「消防業務システムの導入手順書」の記載対象文書一覧

- ・[G1-01] 消防業務システム標準仕様書
- ・[G1-02] 消防業務システム標準仕様書_機能一覧
- ・[G1-03] 消防業務システム標準仕様書_帳票一覧
- ・[G1-04] 消防業務システム標準仕様書_帳票レイアウト・諸元表
- ・[G1-05] 消防業務システム標準仕様書_データリスト
- ・[G1-06] 消防業務システム標準仕様書_機能別連携仕様
- ・[G1-07] 消防業務システム標準仕様書_ファイル連携に関する詳細技術仕様
- ・[G1-08] 消防業務システム標準仕様書_非機能要件
- ・[G3-01] 消防業務システムの調達仕様書ひな形(本体)
- ・[G3-02] 消防業務システムの調達仕様書ひな形(ネットワーク)

消防庁 防災情報室

令和6年3月

目 次

1	目的と概要	- 1 -
(1)	本書の目的と概要	- 1 -
①	本書での解説対象	- 2 -
②	解説対象資料の活用	- 3 -
③	本書の概要	- 4 -
④	用語の定義	- 5 -
(2)	本書の位置づけ	- 7 -
2	各文書の解説	- 8 -
(1)	消防業務システム標準仕様書の解説	- 8 -
①	消防業務システム標準仕様書を理解する	- 8 -
②	消防業務システム標準仕様書の構成を知る	- 8 -
(2)	消防業務システム調達仕様書ひな形の解説	- 9 -
3	各文書の活用案	- 10 -
(1)	活用概要	- 10 -
4	事業者向けの解説	- 11 -
(1)	消防業務システムに関するクラウド実装概要	- 11 -
5	各文書の改定・運用プロセス	- 12 -
(1)	各文書の改定・運用プロセス	- 12 -

1 目的と概要

(1) 本書の目的と概要

本消防庁では「消防指令システムの高度化等に向けた検討会¹」において、消防業務システムや消防指令システムの支援系機能の一部(以下、まとめて「消防業務システム」という。)の標準化とクラウド活用を進め、業務の効率化を図るため、消防業務システム標準仕様書などの文書を作成した。

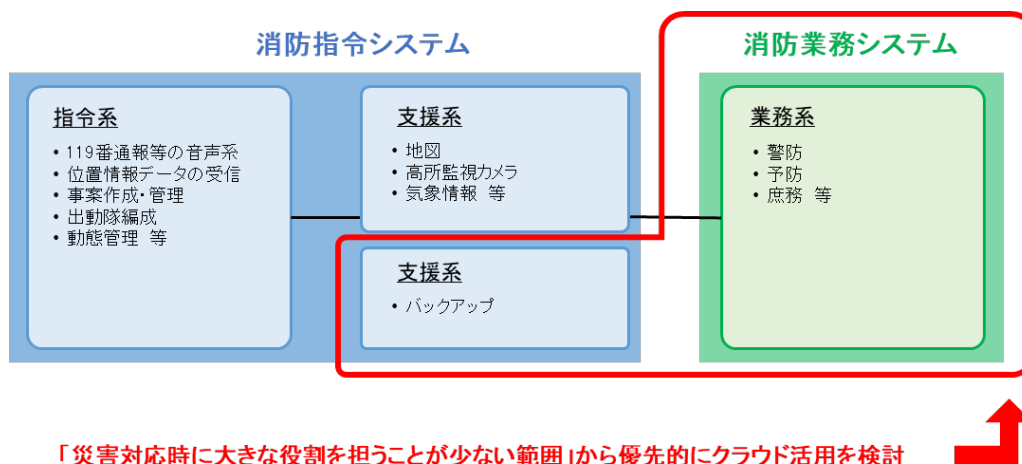


図 1-1 消防業務システム

本検討の中で作成した消防業務システム標準仕様書などの文書は、現在まで同様の文書などはなく、今回初めて作成した文書であるため、消防本部職員及び事業者が確認する際に解釈に迷う箇所や、業務の中でどのように文書を活用していけばいいかわからないといった疑問が生じる可能性がある。

よって、そのような疑義を解消するために、本導入手順書(以下、「本書」という。)は、消防業務システム標準仕様書及び調達仕様書ひな形について、消防本部の理解の支援、活用推進を図る目的で作成している。

¹ 消防庁が事務局となり、令和2年度から実施している消防指令システムの高度化などに向け、消防指令システムの将来的なあり方・取組方針及び消防指令システムと外部システムを接続するための標準インターフェイスなどについて検討を行う会議体

① 本書での解説対象

本書の解説対象の概要を表1-1に示す。各文書の詳細は「2 各文書の解説」をご参照いただきたい。

表 1-1 解説対象資料の概要

対象資料	概要
消防業務システム標準仕様書	・消防業務システムに係る標準的な仕様を規定したもの。 ・消防業務システム標準仕様書の各文書に関する説明は、「2_各文章の解説」で記載する。
調達仕様書ひな形	・消防本部の円滑な消防業務システムの調達を支援するため、調達仕様書ひな形及び消防業務システム標準仕様書との関係性などを整理したもの。 ²
消防業務システムに関するクラウド実装ガイド	・事業者向けに、クラウド環境を利用する際の作業負荷を軽減するため、利用手順やシステムのアーキテクチャなどを整理したもの。 ³

² 調達仕様書ひな形は令和6年度の公表を予定しており、公表と合わせて本書でも解説を追加する予定。

³ 消防業務システムに関するクラウド実装ガイドは令和6年度の公表を予定しており、公表と合わせて本書でも解説を追加する予定。

② 解説対象資料の活用

消防業務システム標準仕様書及び調達仕様書ひな形は、消防業務システムの調達までの過程で活用することを想定している。

各事業者はデジタル庁が整備するガバメントクラウドなどの環境上に消防業務システム標準仕様書の機能を実装した消防業務システム(以下、「標準システム」という。)を構築し提供する。

各消防本部は調達仕様書ひな形などを基に、標準システムを独自改修することなく調達することを想定している。

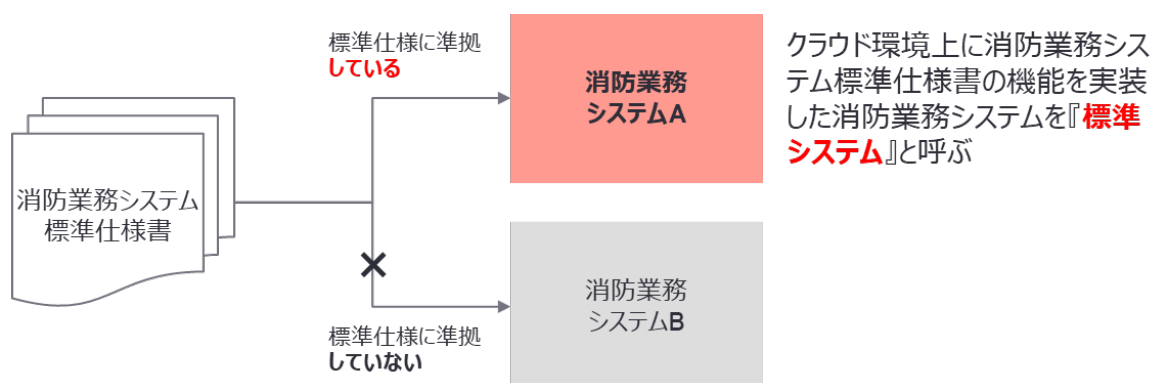


図 1-2 標準システム

消防本部は、消防業務システムの主な刷新フェーズである「要件定義」、「予算要求」、「移行計画」、「調達」の各フェーズにおいて消防業務システム標準仕様書及び調達仕様書ひな形の利用を想定している。各フェーズにおける文書の活用方法などは「3 各文書の活用案」にて示す。

事業者は、消防業務システムが稼働するインフラ環境の整備にあたり、消防業務システムに関するクラウド実装ガイドの利用を想定している。消防業務システムに関するクラウド実装ガイドの概要については「4 事業者向けの解説」にて示す。

③ 本書の概要

本書の記載内容の概要と参照先を表1-2に示す。

表 1-2 本書の概要

章目	項目	項目タイトル/概要	参照頁
1 目的と 概要	(1)	本書の目的と概要 ・本書の作成目的、概要、本書で使用している用語などを記載している。	P1-P6
	(2)	本書の位置付け ・本書の位置づけを記載している。	P7
2 各文書の 解説	(1)	消防業務システム標準仕様書の解説 ・消防業務システム標準仕様書について解説している。	P8-P9
	(2)	調達仕様書ひな形の解説 ・調達仕様書ひな形について解説している。	P9
3 各文書の 活用案	(1)	活用概要 ・本書の解説対象(消防業務システム標準仕様書、消防業務システムの調達仕様書ひな形)について、消防本部がシステム刷新の要件定義から調達までの一連の流れにおいて、どのように活用されるかを記載している。	P10
4 事業者向け の解説	(1)	消防業務システムに関するクラウド実装概要 ・本書の解説対象(消防業務システムに関するクラウド実装ガイド)について、概要を記載している。	P11
5 各文書の 改定・運用 プロセス	(1)	各文書の改定・運用プロセス ・標準仕様書の改定に当たり、改定の時期やプロセス等基本的な考え方を記載している。	P12

④ 用語の定義

表 1-3 用語の定義

No.	用語	定義
1	消防業務システム	・ 警防業務、予防業務、庶務業務・その他業務に係るシステムをいう
2	クラウド	・ クラウドは、利用者がハードウェアやソフトウェアを持たなくとも、インターネットを通じてサービスを必要な時に必要なだけ利用する考え方で、今回はクラウドの中からパブリッククラウドとガバメントクラウドを中心に検討 ※従来のオンプレミス(消防本部内にハードウェアを設置しその上で消防業務システムが稼働)は消防本部が構築・運用しているが、クラウドでは消防業務システム事業者が構築・運用し消防本部がそれを利用する形となる
3	パブリッククラウド	・ クラウドサービス提供事業者が提供するクラウド環境で、企業でも個人でも利用したい人が専用のハードウェアなどを所有することなく、必要な時に必要なだけ自由にサーバやネットワークリソースを利用できるもの
4	ガバメントクラウド	・ デジタル庁が認定したクラウドサービスを行政機関や地方自治体向けに共通的な基盤・機能として提供するもの
5	アーキテクチャ	・ システムの概略構造や基本的な構成
6	機能要件	・ システム開発における、利用者から求められる機能の要件
7	非機能要件	・ 機能要件以外の、ユーザビリティ、性能、拡張性、セキュリティなどの非機能面の要件
8	帳票	・ 通知・証明書などの外部向け帳票と、確認のための一覧表などの内部向け帳票
9	基幹業務システム	・ 消防業務を補助するためのシステムの総称
10	標準システム	・ 消防業務の標準仕様書に適合する基幹業務システム 具体的には下記システムを指す ・ 消防業務システム(消防業務システム標準仕様書

[G4-01] 消防業務システムの導入手順書

【1 目的と概要(1)本書の目的と概要】

No.	用語	定義
		に準拠しているもの)
11	独自システム	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国や地方公共団体が条例や予算に基づいて行う独自施策を実現するためのシステム 具体的には下記システムを指す ・ 消防業務システム(消防業務システム標準仕様書に準拠していないもの、オンプレミス環境で稼働するもの等) ・ 消防指令システム ・ 統計調査系システム ・ 電子申請サービス
12	外部システム	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国や地方公共団体以外の者が整備又は運用する主たる責任を有するシステム 具体的には下記システムを指す ・ 救急関連システム

[G4-01] 消防業務システムの導入手順書
【1 目的と概要(2)本書の位置づけ】

(2) 本書の位置づけ

本書は、消防業務システム標準仕様書、調達仕様書ひな形及び消防業務システムに関するクラウド実装ガイドを補足し、新消防業務システムの円滑な導入を支援する文書として作成している。位置づけのイメージを図1-3に示す。

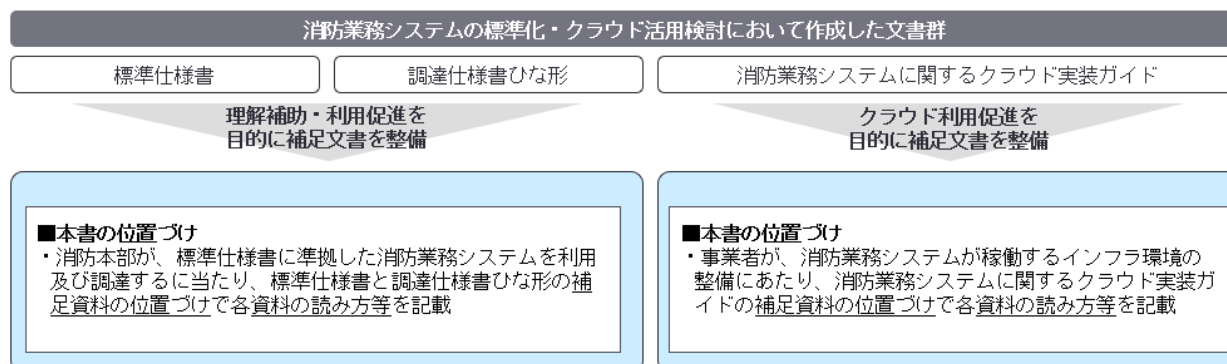


図 1-3 本書の位置づけ

2 各文書の解説

本章では、「消防業務システム標準仕様書」「消防業務システムの調達仕様書ひな形」それぞれの構成や読み方を解説する。

「消防業務システム標準仕様書」などの確認前や確認途中で不明点などがある場合に、本章をご確認いただきたい。

(1) 消防業務システム標準仕様書の解説

① 消防業務システム標準仕様書を理解する

表2-1に「消防業務システム標準仕様書」の基本情報を記載する。

「消防業務システム標準仕様書」の作成目的や想定される使用者などを理解したい場合にご確認いただきたい。

表 2-1 消防業務システム標準仕様書の基本情報

項目	内容
作成目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防本部における消防業務システムの基本的な機能要件・帳票要件等を明確にし、消防業務システム刷新時の仕様検討などを円滑に実施できること。 ・ 消防本部では、本資料を参考に、各消防本部の実態に合わせた調達仕様書を作成していただくことを想定している。
使用者の想定	消防本部のシステム担当者(調達業務実施者)。
消防本部による活用方法(想定)	本書の3.「各文書の活用案」で、消防業務システム標準仕様書の活用方法・手順案を記載している。
【ご参考】 消防業務システム標準仕様書の作成手順	<p>消防業務システム標準仕様書は、以下(ア)～(ウ)の流れで作成した。</p> <p>(ア) 複数の消防本部や消防業務システム事業者へのヒアリング結果などを基に消防業務システムの標準仕様書の素案を作成。</p> <p>(イ) 全国消防本部に対するアンケート調査(令和5年7月)や消防業務システム事業者への意見確認を実施し、標準仕様としての妥当性や過不足(過剰な記載がないか又は記載が不足していないか)を確認。</p> <p>(ウ) (イ)の確認結果を踏まえ素案を更新、最終化。</p>

② 消防業務システム標準仕様書の構成を知る

「消防業務システム標準仕様書」では、冒頭に消防業務システムの目的と概要、その後、消防業務システムの機能要件が記載されている。

「消防業務システム標準仕様書」の資料構成・記載内容は、表2-2のとおり。

表 2-2 消防業務システム標準仕様書の記載構成

章	記載項目	記載内容のサマリ
1	目的と概要	・消防業務システム標準仕様書の作成目的 ・消防業務システムの目指すべき姿 ・消防業務システムの対象範囲等
2	標準仕様	・標準仕様として、「機能要件」「帳票要件」「データ要件・連携要件」「文字要件」を記載。 ・非機能面の要件として、可用性、セキュリティ等の「非機能要件」を記載。
3	参考資料	・消防指令システムと消防業務システムの全体像を記載。

(2) 消防業務システム調達仕様書ひな形の解説

調達仕様書ひな形は、消防本部が消防業務システム(クラウドを活用した標準システム)の調達仕様書を作成する際の作業負荷を軽減するため、調達仕様書ひな形及び消防業務システム標準仕様書群との関係性などを整理して示すものである。

調達仕様書ひな形は令和6年 10 月の公表を予定しており、調達仕様書ひな形の公表と合わせて本書でも解説内容を追加する予定である。

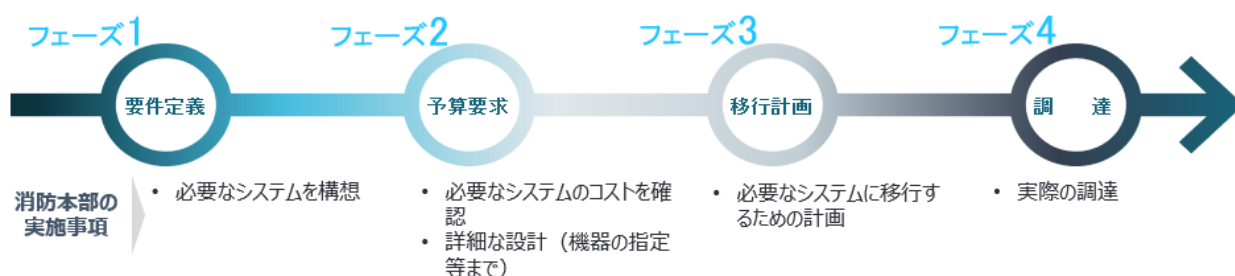
3 各文書の活用案

(1) 活用概要

本書で解説する文書(消防業務システム標準仕様書、調達仕様書ひな形)は、消防業務システムの刷新を行う際に発生する業務の過程で活用できると考えている。

以降の項目では、消防業務システムの刷新を行う際に発生する業務を「要件定義」、「予算要求」、「移行計画」、「調達」の4つのフェーズに区分し、各フェーズにおける活用方法について解説を行う想定であり、詳細な内容は令和6年度に公表予定である。なお、想定している活用の全体像を図3-1に示す。

●消防業務システム刷新に係る消防本部の業務



●フェーズ毎の利用イメージ

資料名	フェーズ1での利用	フェーズ2での利用	フェーズ3での利用	フェーズ4での利用
標準仕様書	<ul style="list-style-type: none"> 既存システムの差異確認 情報提供依頼に向けた資料作成及び分析 	<ul style="list-style-type: none"> 予算要求資料(システム構成及び移行範囲の説明等) 	<ul style="list-style-type: none"> 移行計画作成(帳票等の法令改正、データ移行等) 	<ul style="list-style-type: none"> 調達仕様書作成
調達仕様書	利用想定なし	利用想定なし	<ul style="list-style-type: none"> 移行計画作成(調達内容の整理等) 	<ul style="list-style-type: none"> 調達仕様書作成

図 3-1 活用の全体像

4 事業者向けの解説

(1) 消防業務システムに関するクラウド実装概要

消防業務システムに関するクラウド実装ガイドは、事業者が消防業務システムの構築環境としてクラウド環境利用する際の作業負荷を軽減するため、利用手順やシステムのアーキテクチャなどを整理して示すものである。⁴

⁴ 消防業務システムに関するクラウド実装ガイドは令和6年10月の公表を予定しており、消防業務システムに関するクラウド実装ガイドの公表と合わせて本書でも解説内容を追加する予定。

5 各文書の改定・運用プロセス

(1) 各文書の改定・運用プロセス

標準仕様書の改定に当たっては、消防本部及び事業者の意見を反映し、消防業務システムの安定的な構築、調達及び運用を行っていく必要があることから、改定の時期等について、以下のとおり、基本的な考え方を整理する。

更新頻度は1年に1回程度とし、改定の時期やプロセス等を検討している。